

大阪維新の会

域の大きな課題となつてい
る。また、安心、安全の課
題も重要で、住民の意見を



JRおおさか東線衣摺加美北駅

踏まれた跡地活用をするべ
きと考えている。そこで尋
ねるが、長瀬西幼稚園跡地、
旧太平寺中学校跡地、三ノ
瀬小学校跡地の活用をどの
ように考えているか。
学校教育部長 統合
後に残された学校施設
設や跡地については、
地域の実態やニーズ
も踏まえ、市全体及
び当該まちづくりの
視点から、どのよう
な活用が望ましいの
か検討していく。
—JRおおさか東線
衣摺加美北駅周辺
のまちづくりにつ
いて—
問 人口減少時代の
中、東大阪市の西南

部は近年に小学校や中学校
の統廃合が続く、高齢者の
割合が多い地域であり、一
方で平成三十年の春に開業
する衣摺加美北駅周辺は町
工場の多い地域でもある。
市は新駅周辺のまちづくり
をどのように考えているの
か。
建設局長 衣摺加美北駅開
業後の土地利用の動向を見
据えながら、地元の方々、
とりわけモノづくり企業の
方々にとって、操業環境と
調和のとれた新駅を中心と
した周辺地域の活性化を目
的とした魅力あるまちづく
りを検討していく。
—FM放送開局・情報発信
について—
問 東大阪市の魅力あふれ

る情報発信の現在の方法、
現状、効果についてお聞き
する。他市ではさまざまな
目的を持ち、地域密着型の
コミュニティ放送が行われ
ている。コミュニティFM
は行政情報、生活情報、娯
楽、報道、広告、観光情報
災害情報など、さまざまな
情報の発信ができる。本市
でもコミュニティ放送を開
局すれば良いと考えるが、
市の見解を述べ。また、コ
ミュニティ放送の他市の状
況や効果は把握しているか。
開設のメリット、デメリット
についても答えよ。
理事 市の広報は、現在市
政だよりをはじめウェブサ
イトやケーブルテレビなど
を通じて情報発信を行って

いる。また新たに市公式フ
ェイスブック、YouTube
などの導入を図った。今
後も新たな広報媒体の可能
性について検討していく。
FM放送局の開設について
は、今後、既にFM放送局
を開設している他市の状況
を把握した上で、広報媒体
としての費用対効果並びに
メリット、デメリットにつ
いて、調査、研究を進める。
—土砂災害について—
問 先の台風二十一号の被
害であるが、阪奈道路や日下
町八丁目付近にて、土砂崩
れが発生した。ハード面
において現在の砂防堰堤の設
置状況、今後の砂防堰堤の
建設、土砂災害対策、流木
対策においての府への要望

府との連携、また私有地
の急傾斜危険箇所への対応に
関して、市の見解を述べよ。
土木部長 砂防堰堤の設置
は、大阪府が事業主体とな
り、緊急度の高い箇所から
順次整備を進めている。設
置状況は、危険度の高い三
十六の溪流のうち、十八の
溪流で設置済みである。現
在、山手町の鬼虎川と上石
切町の引谷で工事を実施し
ている。私有地での急傾斜
地危険箇所の対応は、工事
により利益を受ける方が限
定されることから、費用の
一部を負担しなければなら
ない。今後も大阪府と連携
を密にし、継続して整備を
進めてもらうよう強く要望
する。

日本共産党

個人質問 塩田 清人

個人質問 嶋倉久美子

中小企業に寄り添う支援を！ 子育て支援の後退 早急に改善を！

—東大阪の中小企業支援に
ついて—

問 アベノミクス経済が始
まって丸五年。大企業や大
株主は過去最大の利益を享
受しているが、東大阪の中
小企業の多くは景気回復を
実感できず、製品単価や受
注量の減少、後継者難など
苦勞と困難を抱えている。
そこでお尋ねするが、本市
経済の好循環をつくり出す
ために、課題をどう認識し、
支援策をすすめるのか。
経済部長 モノづくり支援
に向け、高付加価値化、人
材育成、操業環境、販路開

拓の四本柱に横ぐしを通す
形での取組みをスタートさ
せている。今後も市内企業
の実情を勘案しながら様々
な施策に取り組んでまいり
たい。
—小中一貫教育について—
問 本市の小中一貫教育の
議論と条件整備は平成三十
一年度に一斉にすすめるこ
ういう結論が優先され、子
どもたちにとっての教育の中
身を充実させることがおろ
そかになっていないか。小
中一貫教育が効果的な教育
ができるシステムだという
中身も示されず、検討過程

やこれまでの教育を検証し
た結果も示されていない。
教育現場でどのように積み
重ねられ結論づけられたの
か。
教育次長 全国の自治体や
学校現場で取組みが蓄積さ
れた。本市でも取り組みに
関わる検証と学校現場での
議論を積み重ねていく。
—女性の就労支援に
ついて—
問 働きたいと思う女性が、
中小企業のまち、東大阪
で働けるようにするための
総合的な対策が必要。「就活
ファクトリー東大阪」の取

り組みが学生等を含む若者
や女性に対し就職支援とな
るようサポートの充実を図
るべきだがどうか。
経済部長 女性の総合的な
ライフスタイルを勘案し、
就職が出来るように最大限
の働ける枠を広げた中でハ
ローワークや関係機関と連
携し、正規雇用に向けて支
援していく。
—公立園における保育士
不足の現状と打開につ
いて—
問 保育士不足が原因で一
時預かりや地域交流事業の
園庭解放ができなくなつて
いるが、この保育士不足の
原因は何か。民間保育園の
待遇改善が少し進む中、東
大阪市の本来は正規職員が
当たり前の公務を多くの非
正規職員に置きかえてきた

ことが原因である。今の職
員計画を抜本から見直して
早急な保育士確保の実施と、
希望する人が入れる認可保
育所の整備を中心に待機児
童解消を実施するべきであ
るが、市の見解を問う。
子どもすこやか部長 一時
預かり事業も保育士不足の
影響が大きく、枠の確保に
苦慮している。市民の二

つても高く、地域の子育て支
援事業計画においても子育
て支援の充実を目指してお
り、保育士の確保に努める。
—学校図書館の充実に
ついて—
問 本市が平成二十七年三
月に出した「東大阪市立図
書館基本構想」にあるよう
に、市立小中学校の図書館
に図書司書を配置し開館時
間の拡大と
充実を求め
る。
市長 司書
の充実が確
かに非常に
理想だが、
人件費と財
源を考えると市単独で
は厳しい。

東大阪創生会

個人質問 中西 進泰

ボランティアの養成は喫緊の課題！ 災害時のトイレの重要性！

—観光・語学カイドの養成
について—

問 観光ボランティアや語
学ボランティアは、東大阪
を訪れる人の印象を左右す
ると言ってもいいほど重要
であり、その養成について
は、みどり景観課が主催す
る緑化ボランティア養成講
座を参考にすべきである。
平成二十三年から毎年二十
名ずつ、一年間かけて計画

的に養成し、今や百名を超
える緑化ボランティアが庁
舎周辺、駅前、公園など市
内各所で活躍していただき
町の緑化に貢献していただ
けている。観光施策を推進す
るうえで、観光ボランティア
や語学ボランティアの養成
成に取り組みの喫緊の課
題であるが、当局の見解を
問う。
経営企画部長 今後国際大

会が本市で開催されること
を初め、観光プログラム等
を充実させることにより、
外国人を含めた多くの方が
本市を訪れる機会が増える
と予想される。平成三十年
二月ごろに、まず市民や事
業者向けに観光案内やおも
てなしに関する基礎的なセ
ミナーの開催を予定してお
り、関心のある市民層の掘
り起こしと市民のおもてな
し力の底上げを図っていく。
—災害時のマンホール
トイレについて—
問 地震などの災害が発生
した時、飲食料や医療の確

保は重要視されがちだが、
トイレの問題はそれと同様
に重要な問題である。過去
の大規模災害時には、断水
によってトイレが使えず汚
物があふれ、被災者が排泄
を我慢したり、水分補給を
控えたことにより脱水症状
や脳梗塞などの健康被害が
報告されている。今、災害
時のトイレとしてマンホー
ルトイレが注目されている。
し尿を下水道管に直接流す
ことができ、上部構造物の
備蓄が容易で設置も簡単で
あり、段差もなく、要配慮
者にも利用しやすいという

利点がある。避難所におい
て良好なトイレ環境を切れ
目なく提供する必要がある
が、マンホールトイレにつ
いてはまだまだ認知度も低
く、全国的にも導入が遅れ
ている。国土交通省からマ
ンホールトイレの整備につ
いて、マンホールを含む排
水管の布設など、下部構造
物について五基で七百万か
ら八百万ほどかかる事業費
の半額が補助されるとい
う財政支援もあり、国もその
普及に努めている。市とし
てもマンホールトイレの導
入を検討すべきと考える。

下水道部長 ハード整備を
必要とするマンホールタイ
レンシステムは、整備に相当
な費用と期間を要し、災害
への備えや費用対効果を鑑
みると、現在、各一次避難
所に配備されている災害用
簡易組み立てトイレの方が、
導入効果が大きいと考える。
平成二十六年より流下機
能を確保しなければならぬ
重要な管渠を選定し、優
先的に耐震化を進めている。
引き続き管渠の耐震化を進
めることで、地震被災時に
おいても迅速に機能回復で
きるよう努めていく。

新社会党

個人質問 松平 要

子どもが安心して学校生活を送れる環境を整備せよ！ 年始のごみ収集に工夫を！

—通学路と教育環境の整備
について—

問 スクールゾーンなどの
道路標示の設置について地
元の要望を教育委員会に伝
えたところ、種類によって
教育委員会と建設局のそれ
ぞれの部署の判断でなされ
ていると説明を受けたが、

直後に実は全て教育委員会
の所管であるとの訂正がな
されるなど、通学路の安全
確保について甚だ心もとな
い対応であった。そこでお
尋ねするが、通学路の安全
確保の重要性についてどう
考えているのか。次に、中
学生活というものは極めて

デリケートで重要な時期で
あるが、本市の複数の中学
校で生徒やクラスの荒れ、
またセクハラ・パワハラ等
教師間の対立など保護者か
ら報告が多数あった。現在
教育委員会から見て問題の
ある中学校は何かあるのか。
その原因や責任の所在、対
策はどうなっているのか。
学校教育部長 通学路の安
全確保は学校教育の根幹を
なすもの一つと認識して
いる。今後も子ども達の安

心・安全な通学のため対策
に努めていく。次に、議員
ご指摘の学校の荒れと言わ
れる現象は、一人ひとりの
子どもの学びにとって重い
影響を及ぼすものと認識し
ている。教育委員会として
十分な状況把握と指導・研
修などを行い、学校の生
徒指導および指導体制の構
築に取り組んでいく。
—年始のごみ収集などの対
策について—
問 例年、年の初めは家庭

ごみの量が大変多く、新年
を迎えたいすがすがしい時期
に路上には多くのごみが山
積みになっている。少しま
も早く収集をと、現場は獅
子奮迅の働きをしているが、
さらに効果を高めるため年
始の特例として収集開始時
間を早めるなどの工夫は出
来ないか。正月早々あまり
早い時間だと、ごみを出す
市民にも負担がかかるとい
う考えもあるが、それなら
はその時期だけコースを変

更して、前日までにごみの
集積場に出すことの出来る
集合住宅から収集を開始す
るなどの工夫の余地はある
と思うが、どうか。
環境部長 年始ごみの収集
は直営・委託を問わず収集
車の台数を増やすなど例年
対策を行っているが、議員
ご提案のごみ量が多い集合
住宅からの収集方法は早く
収集が行える有効な策であ
り、実施に向けて現在調整
を行っているところである。

学校司書配置の計画通りの実行を！

東大阪市長 市立図書館基本構想

平成27年3月 東大阪市長

市長 司書
の充実が確
かに非常に
理想だが、
人件費と財
源を考えると市単独で
は厳しい。